

1 PLAN(目的・概要)

その他経常業務

政策名	安全		責任者	総務部 危機管理課長
施策名	防災・危機管理機能の強化		連絡先	052-654-7813
事務事業名	沿岸防災情報管理システムの管理・運用		連携課	工事課
目的	対象(誰・何を)	防潮扉	事業期間	平成13年度～継続
	意図(どういった状態にしたいか)	高潮や津波等発生時に、迅速かつ確実に閉鎖します。		
概要	沿岸防災情報管理システムを適正に点検・管理し、高潮や津波等発生時に、防潮扉の閉鎖指示を操作従事者に一斉通報し、防潮扉の閉鎖状況を確認します。		根拠法令等	名古屋港管理組合防災計画
活動内容	通報試験:操作従事者に月1回の通報試験を行います。 保守点検:テレメータ監視装置、自動通報装置、無停電電源装置 各1式、無線局 13局、リミットスイッチ 37箇所		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
			関連シート	

2 DO(実施)

コスト	単位	27年度	28年度	29年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	9,028	14,750	18,801	14,193	消耗品の交換及び機器を修繕したことから、事業費が増加しました。
人件費	千円	7,135	7,167	7,352	7,218	
合計	千円	16,163	21,917	26,153	21,411	

3 CHECK(検証)

指標名		27年度	28年度	29年度	中間目標 30	指標の説明・目標値の考え方	外部要因	
通報試験(到達・応答の精度)(%) (単年度管理型)	目標	100	100	100	100	月1回の通報試験を行い、到達・応答の精度	操作従事者の対応	
	実績	100	100	100				
事業進捗状況(29年度)				目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る			
通報試験(確認時間)(分) (単年度管理型)	目標	5	5	5	5	通報試験の平均確認時間 (閉鎖指示から応答までの時間)	操作従事者の対応	
	実績	7	18	10				
事業進捗状況(29年度)				目標値を上回る 目標値をやや下回る	目標値どおり 目標値を下回る			
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	通報試験の到達・応答の精度は良好な結果を得られているため、引き続きこの状態の維持に努めていきます。確認時間については、操作従事者の対応の対応が影響することから、目標には届きませんでした。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○	高潮や津波等発生時に防潮扉を確実に閉鎖するため、当該システムを管理運用することは、海岸管理者である本組合として必要性の高い事業です。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	○	当該システムによる通報試験は、高潮や津波等発生時に防潮扉を確実に閉鎖するための有効な事務事業で、防災・危機管理機能の強化に寄与します。					
	期待どおりの成果が得られているか?	△	通報試験(到達・応答の精度)については、目標を達成することができましたが、確認時間については、防潮扉操作委託事業者の対応が影響することから、目標には届きませんでした。					
効率性	最小のコストとなっているか?	○	最低限必要な保守点検費用、人件費で実施しました。					

4 ACTION(取組)

課題	30年度以降の取組
防潮扉の閉鎖指示の確実な到達・応答を継続していくとともに、確認時間の短縮に取り組んでいくことが必要です。	今後も引き続き、防潮扉の閉鎖指示の確実な到達・応答を継続していきます。